
生活とお金に 関するアンケート

2018年2月22日

家庭の銀行



目 次

P. 1	調査の概要
P. 2	1. 2017年を振り返って
P. 5	2. 2018年の展望
P. 8	3. 備えが必要（経済的に不安）と感ずること
P. 9	4. 今、一番買いたいもの
P. 10	5. お金の支払いをする際の決済方法
P. 11	6. 資産運用について

調査の概要

(1) 調査概要

調査目的 …

近年、上場企業の純利益は2年連続で過去最高となる見通しとなるなど、景気回復が続いていると言われていた中、青森県内の企業からは「地方では景気回復の実感はない」との声も数多く出ている。一方、個人を取り巻く環境では、消費動向や住宅投資などは堅調に推移するなど、青森県の景気は良いのか悪いのか判断が難しい状況が続いている。

また、生活をしていく上で欠かすことの出来ないお金を取り巻く環境もスマートフォンや電子マネーなどの普及などにより大きく変化している中、実際に青森県民は自身の生活環境をどのように感じているのか、生活への満足度やお金に関する意識について掘り下げることを目的に実施する。

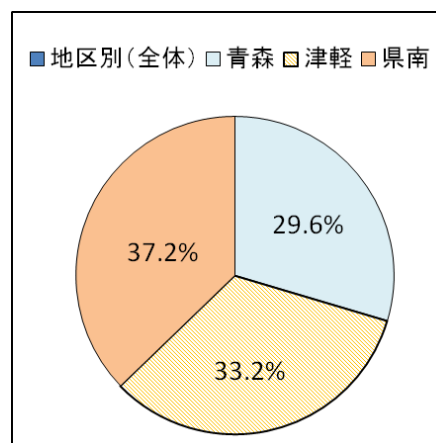
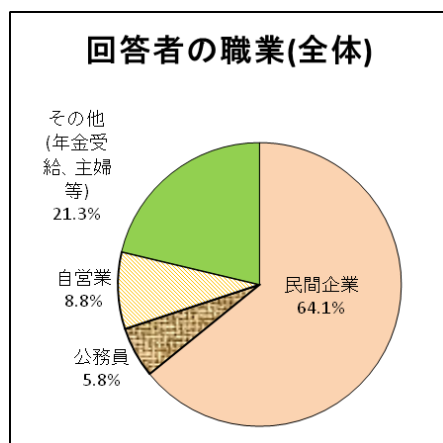
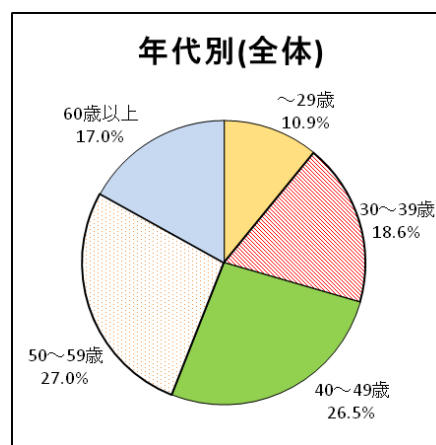
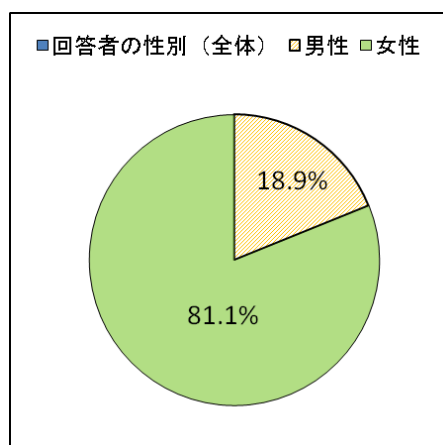
調査対象 … 青森県内に居住の個人 1,115名

調査方法 … 無記名による回答選択方式および自由記述方式

調査時期 … 2018年1月初旬～2月初旬(毎年1回)

回収率 … 1,115名(100%)

(2) 回答者の属性



1-1. 2017年を振り返って

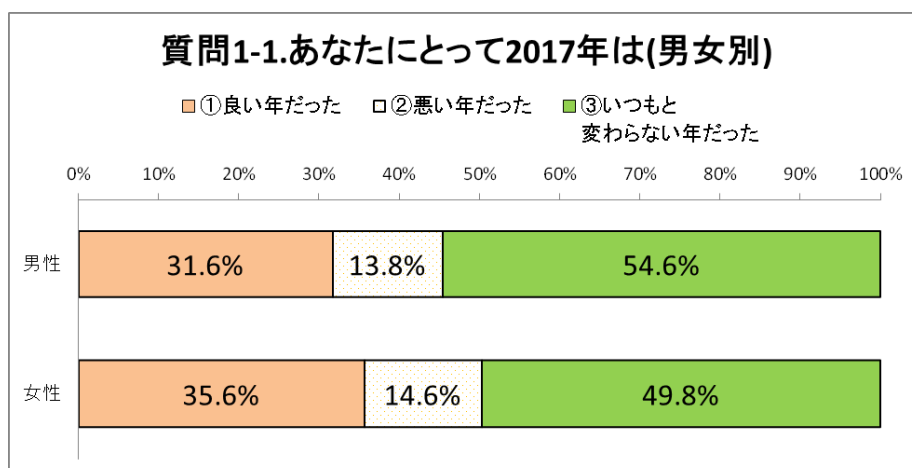
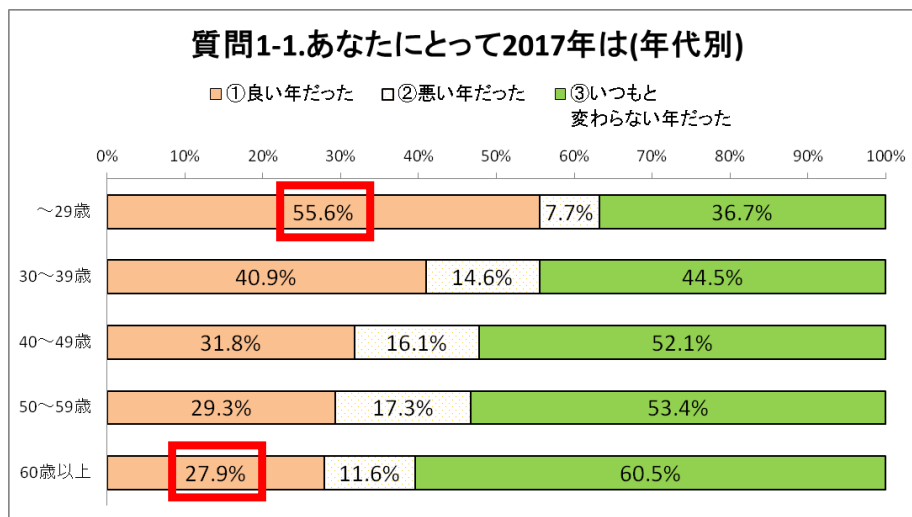
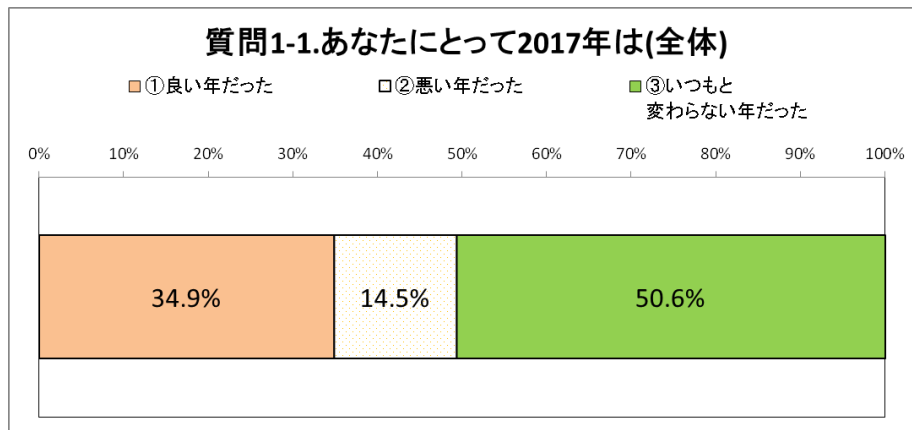
若い年代ほど「良い年だった」と回答

2017年を振り返って、「良い年だった」と回答した割合は34.9%となり、「悪い年だった」の回答を20.4ポイント上回った。

「良い年だった」と回答した割合を年代別で見ると、20代が55.6%と最も高く、60歳以上が27.9%と最も低い割合となるなど、若い年代ほど「良い年だった」と回答した人が多かった。また、全ての年代で「良い年だった」が「悪い年だった」を上回った。

男女別で見ると、女性の方が「良い年だった」と回答する割合が多かった。

総じて、2017年を振り返ると青森県民は相応に満足して過ごした年だったと言える。



1-2. 2017年が「良い年だった」理由

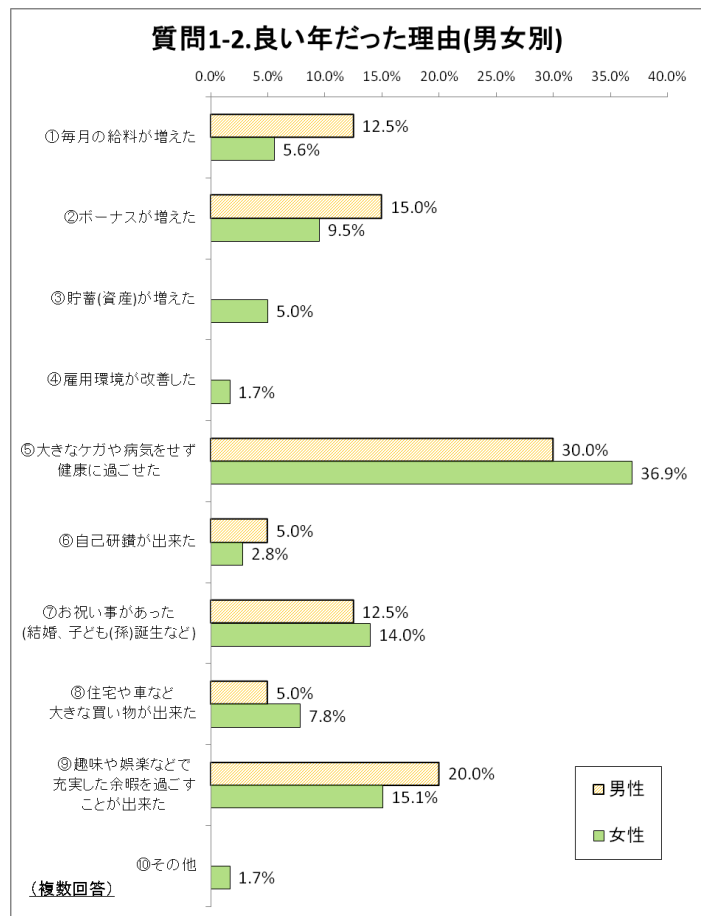
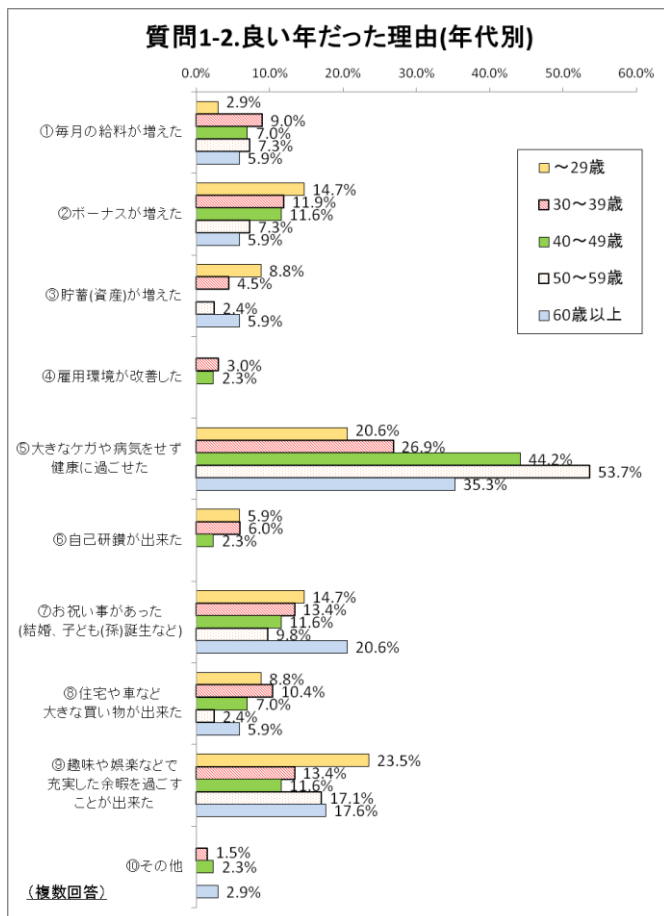
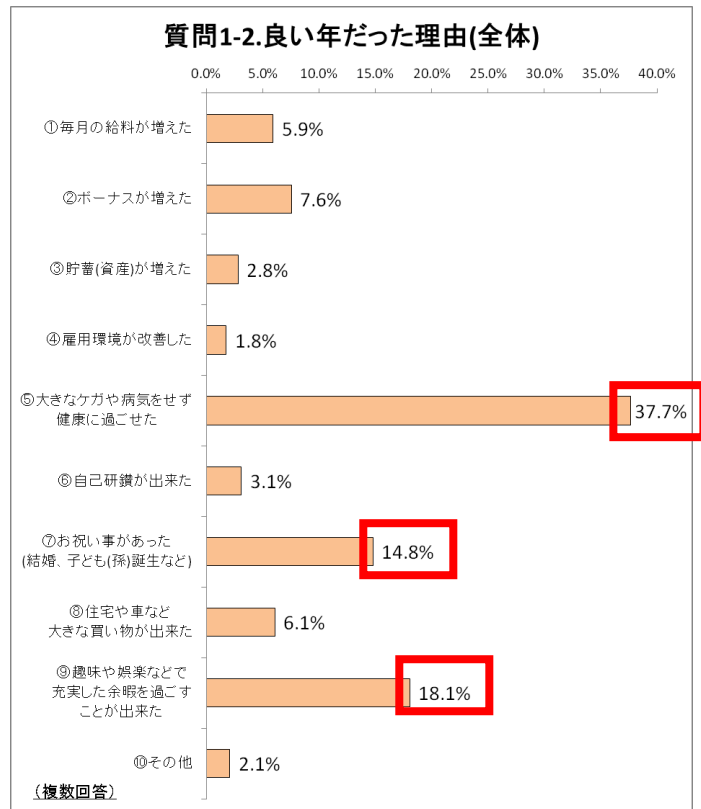
健康が一番の理由

2017年が「良い年だった」と回答した人に理由を尋ねたところ、「⑤健康に過ごせた」が37.7%で最も高い割合となった。

次いで、「⑨趣味や娯楽で充実した余暇を過ごせた」が18.1%、「⑦お祝い事があった」が14.8%となった。

「給料やボーナスが増えた」等の経済的な理由よりも「健康」「充実した余暇」「お祝い事」が個人の満足度には影響が高い結果となった。

男女別で見ると、男性の方が「給料やボーナスが増えた」を理由に挙げる割合が高く、女性の方が「健康」を挙げる割合が高い結果となった。



【その他コメント】

- ・住宅ローン、子どもの学費等の支出が全て終わった (50代・民間・男性)
- ・孫のはじめてのお給料で食事に招待してくれ、ボーナスでビールをくれた (60代・その他・女性)

1-3. 2017年が「悪い年だった」理由

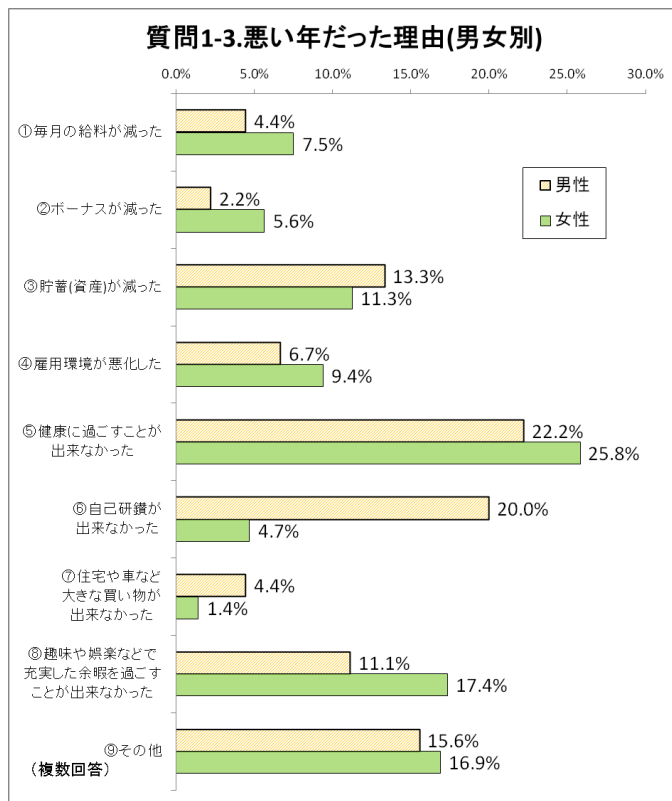
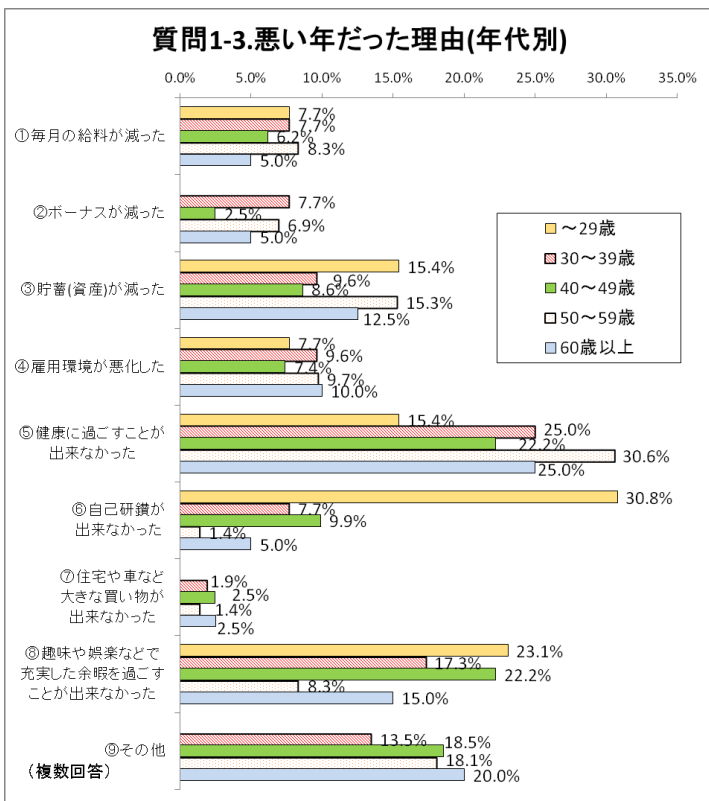
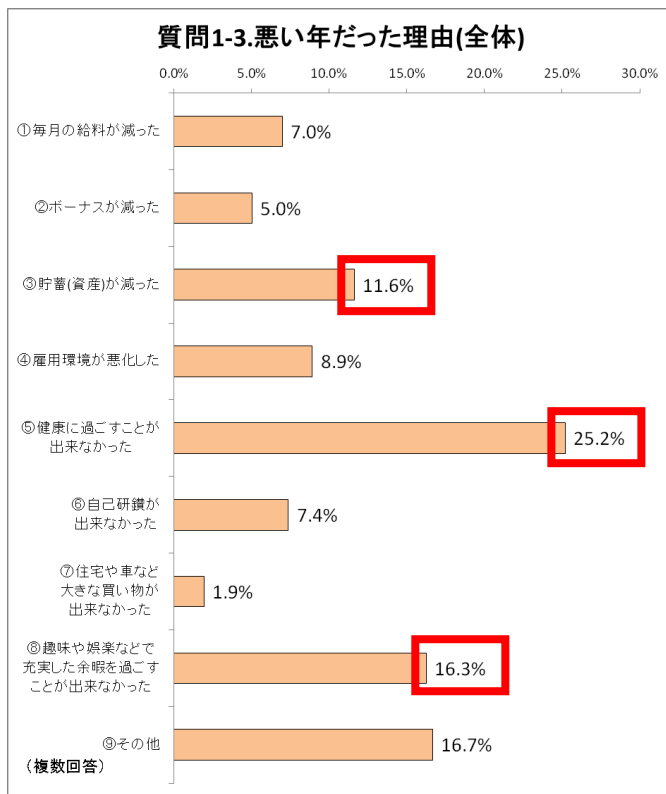
健康が一番の理由

2017年が「悪い年だった」と回答した人に理由を尋ねたところ、「⑤健康に過ごすことが出来なかった」が25.2%で最も高い割合となった。

次いで、「⑧趣味や娯楽で充実した余暇を過ごせなかった」が16.3%、「③貯蓄（資産）が減った」が11.6%となった。

「良い年だった」と同様、「健康」「充実した余暇」が個人の満足度に高い影響を与えている。

年代別では、20代が「⑥自己研鑽が出来なかった」を理由に挙げる割合が30.8%と突出し、男女別で見ると、男性が「⑥自己研鑽」、女性が「⑧充実した余暇を過ごすことが出来なかった」を挙げる割合が高かった。



【その他コメント】

- ・親の介護（多数）
- ・身内の不幸（多数）

2-1. 2018年の展望

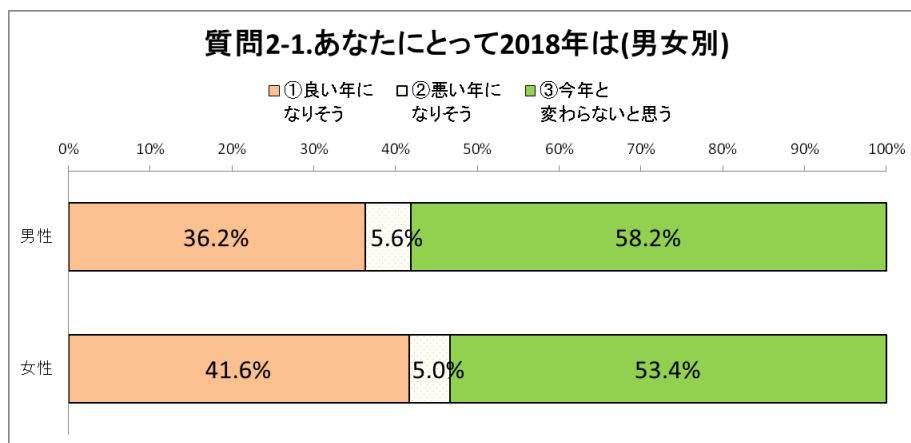
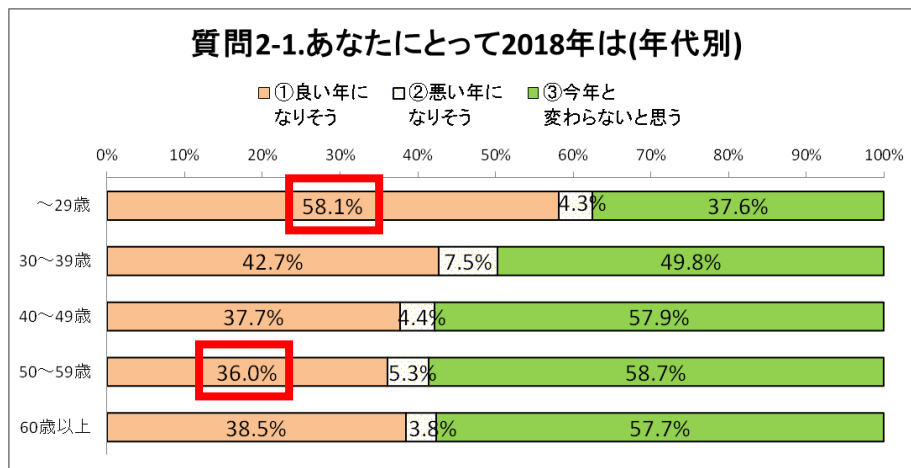
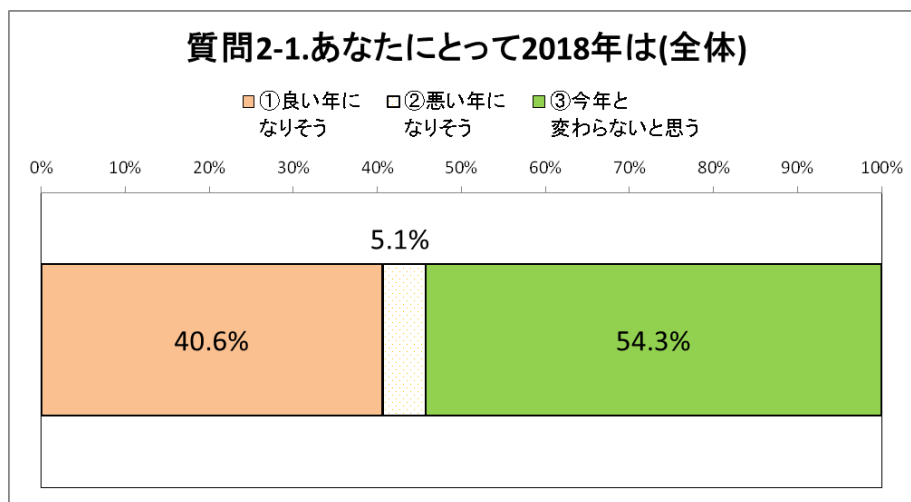
若い年代ほど「良い年になりそう」と回答

2018年を展望して、「良い年になりそう」と回答した割合は40.6%となり、「悪い年になりそう」の回答を35.5ポイント上回った。

「良い年になりそう」と回答した割合を年代別で見ると、20代が58.1%と最も高くなった。50代が36.0%と最も低い割合となったが、総じて若い年代ほど「良い年になりそう」と回答する割合が多かった。また、全ての年代で「良い年になりそう」が「悪い年になりそう」を大幅に上回った。

男女別で見ると、女性の方が「良い年になりそう」と回答する割合が多かった。

総じて、2018年は「悪い年になりそう」と考える割合は約5%と極めて少なく、「良い年になりそう」と考えている県民が多いという結果となった。



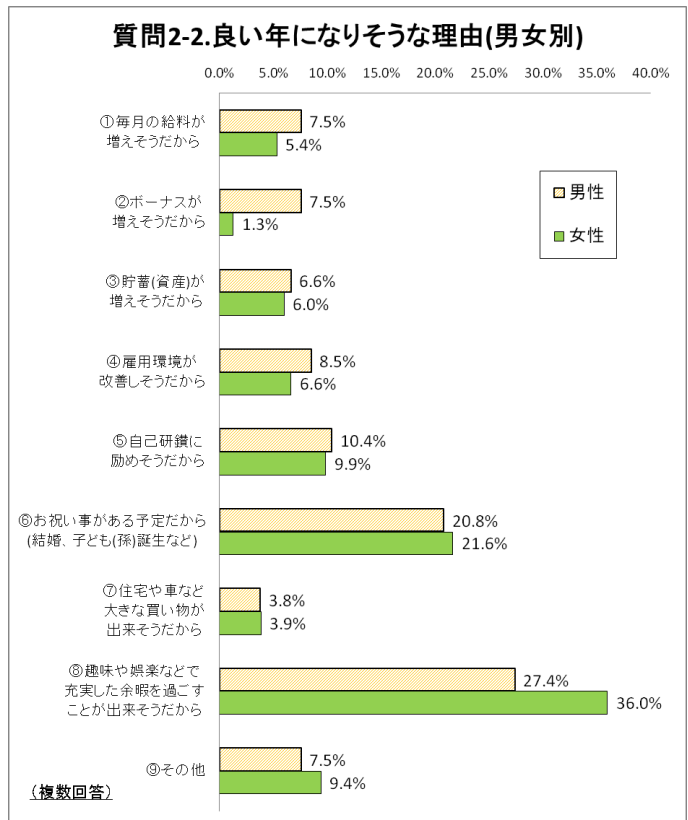
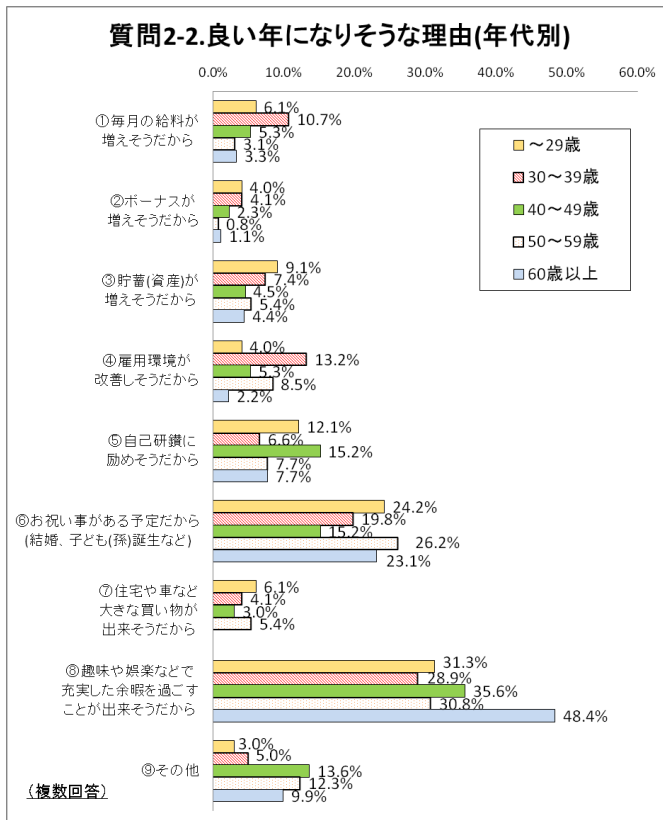
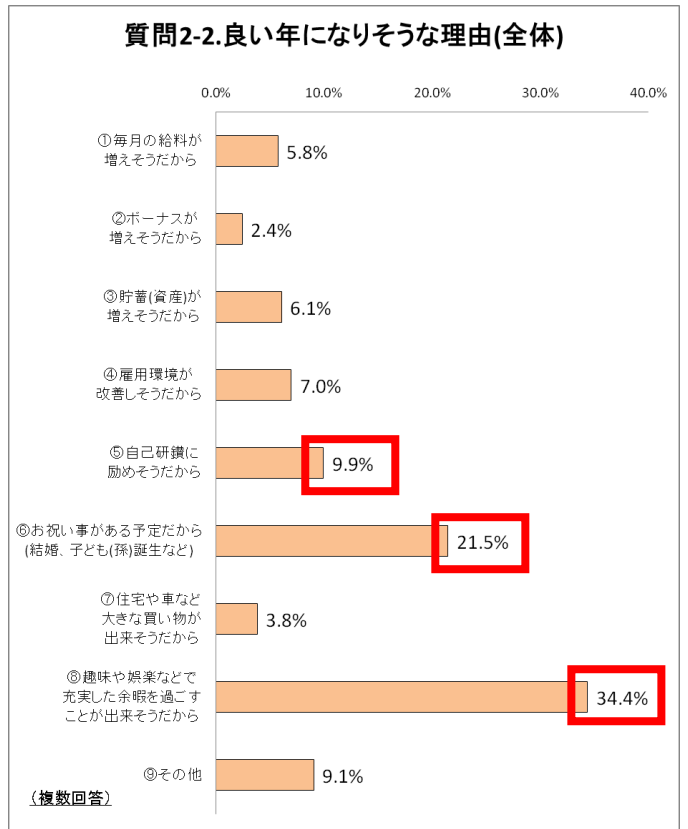
2-2. 2018年が「良い年になりそう」な理由

「充実した余暇が過ごせそう」が最多

2018年が「良い年になりそう」と回答した人に理由を尋ねたところ、「⑧趣味や娯楽で充実した余暇を過ごせそう」が34.4%で最も高い割合となった。次いで、「⑥お祝い事がある予定」が21.5%、「⑤自己研鑽に励めそう」が9.9%となった。

年代別で見ると、60歳以上が「⑧趣味や娯楽で充実した余暇を過ごせそう」を理由に挙げる割合が48.4%と最も高くなっている。

男女別で見ると、男性の方が「給料やボーナスが増えそう」「雇用環境改善」を理由に挙げる割合が高く、女性の方が「充実した余暇」を挙げる割合が高い結果となっている。



【その他コメント】

- ・「良い年にしたい」という期待を込めて(多数)
- ・新しい目標を持って行動できそう(30代・民間・男性)

2-3. 2018年が「悪い年になりそう」な理由

「充実した余暇を過ごすことが出来なそう」が最多

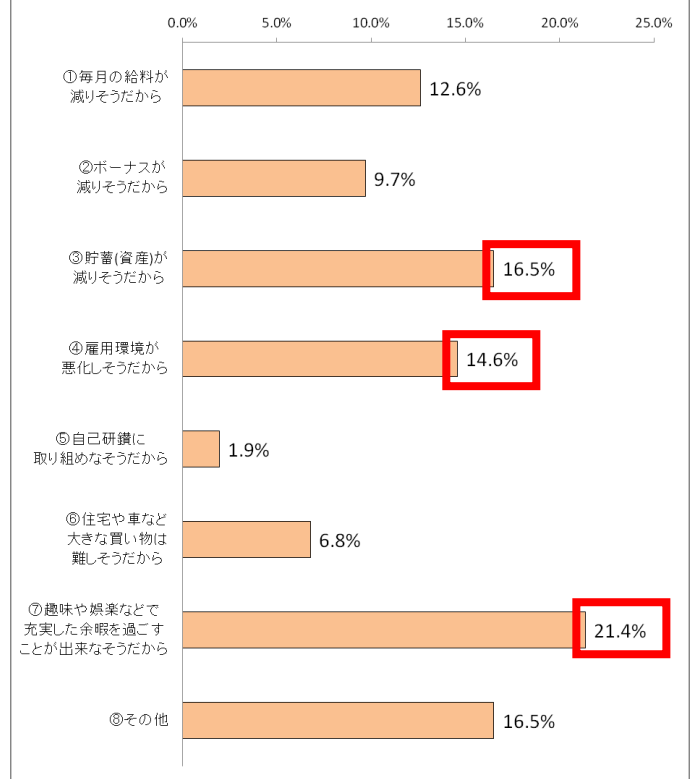
2018年が「悪い年になりそう」と回答した人に理由を尋ねたところ、「⑦趣味や娯楽で充実した余暇を過ごすことが出来なそう」が21.4%で最も高い割合となった。

次いで、「③貯蓄（資産）が減りそう」が16.5%、「④雇用環境が悪化しそう」が14.6%となった。

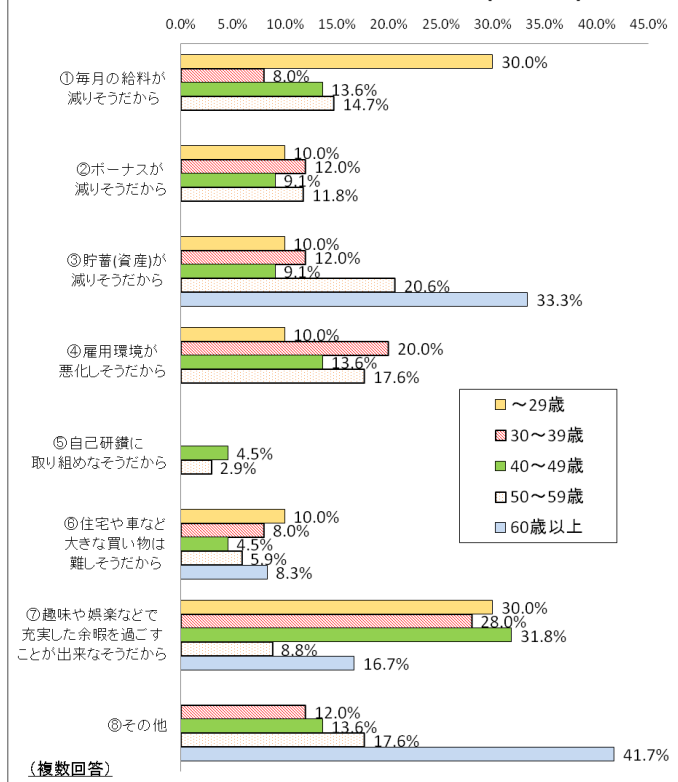
年代別で見ると、60歳以上が「貯蓄（資産）が減りそう」を理由に挙げる割合が33.3%と最も高くなっている。

「良い年になりそう」と同様、個人の満足度に最も影響を与えているのは「充実した余暇が過ごせるか」だが、「悪い年になりそう」な理由では、雇用や金銭面を上げる割合が多くなっている。

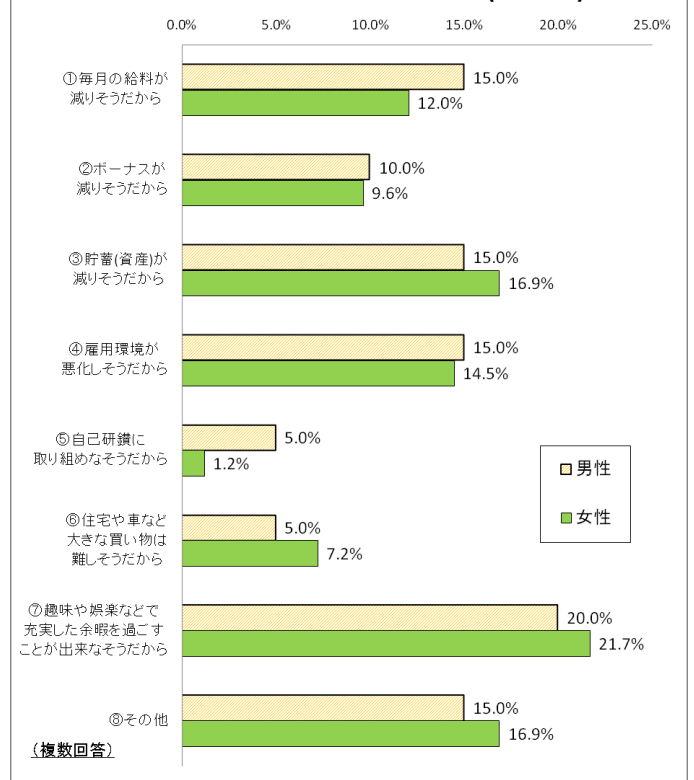
質問2-3.悪い年になりそうな理由(全体)



質問2-3.悪い年になりそうな理由(年代別)



質問2-3.悪い年になりそうな理由(男女別)



【その他コメント】

- ・子どもの教育資金の負担が増えそう（40代・その他・女性）
- ・売上が減りそう（50代・自営業・女性）

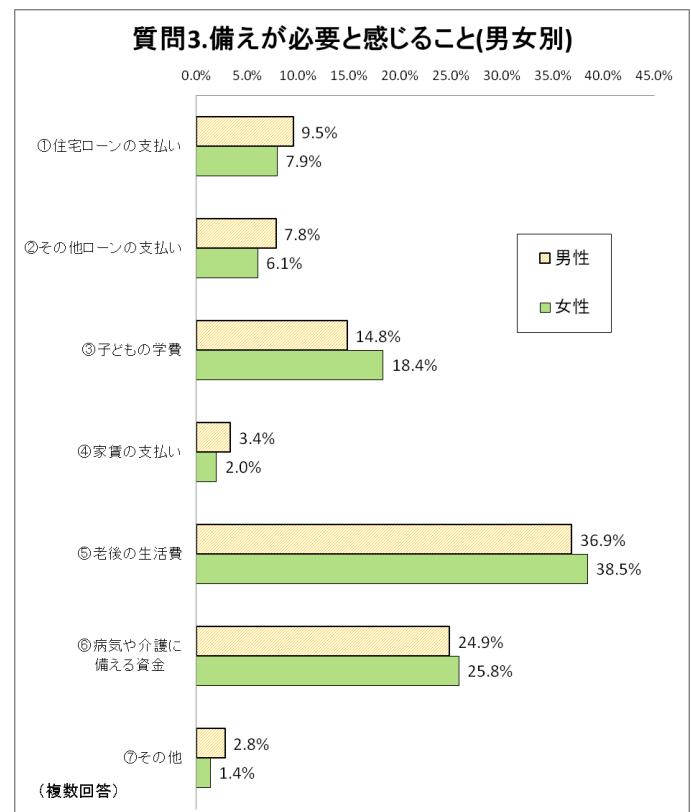
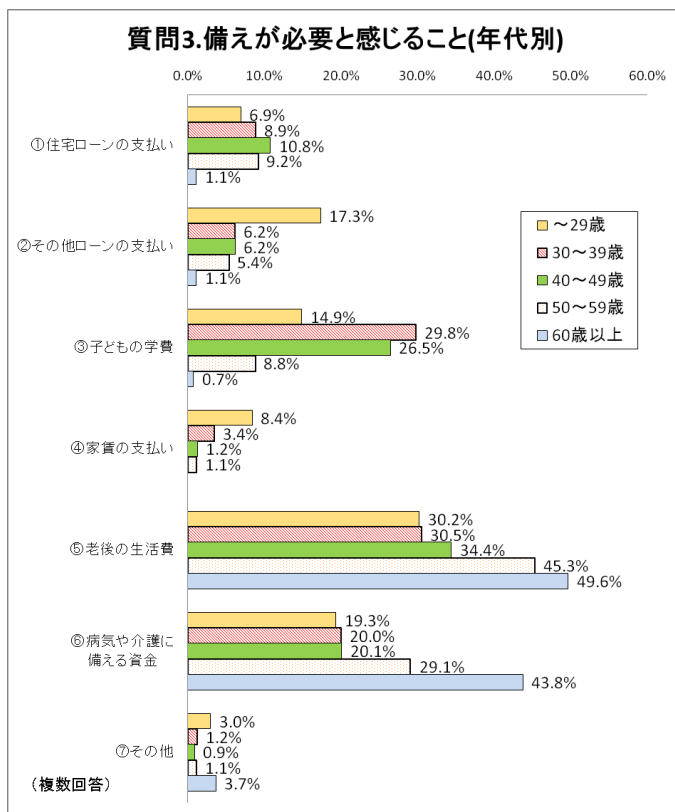
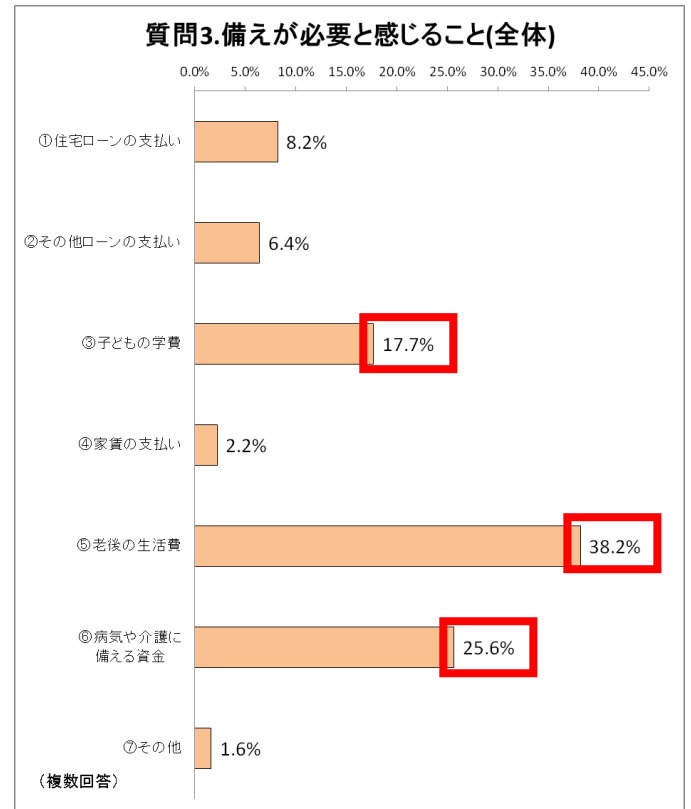
3. 備えが必要（経済的に不安）と感じること

老後の生活費が最多

「備えが必要（経済的に不安）」と感じることで最も高い割合となったのは、「⑤老後の生活費」で38.2%となった。次いで、「⑥病気や介護に備える資金」が25.6%、「③子どもの学費」が17.7%となった。

年代別でみると、30代・40代で「子どもの学費」を挙げる割合が高くなっている。

また、「老後の生活費」や「病気や介護に備える資金」は年代が高くなるにつれて割合も高くなり、60歳以上では半数近くの人が不安を抱いている。



【その他コメント】

- ・結婚資金（20代・民間・女性）
- ・趣味の資金（60代・自営業・女性）

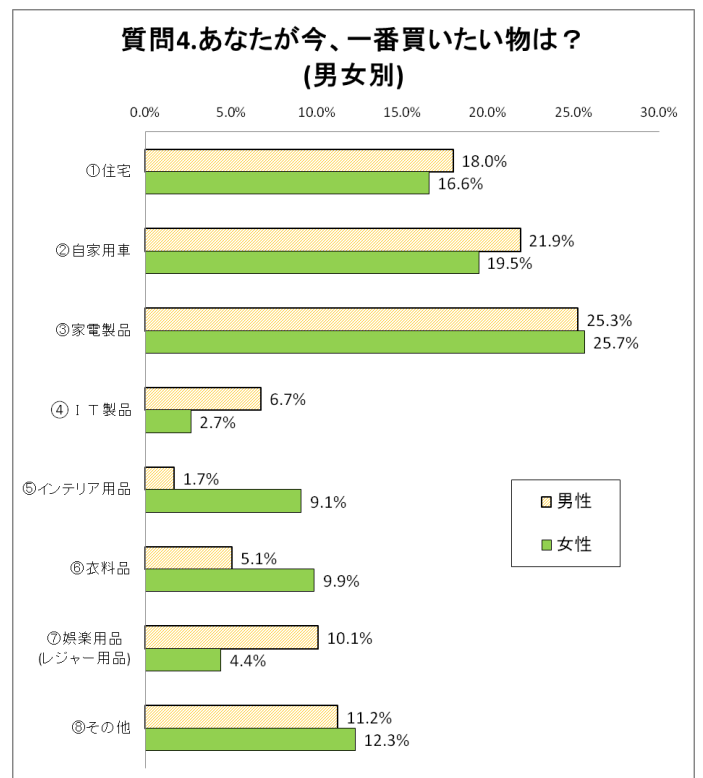
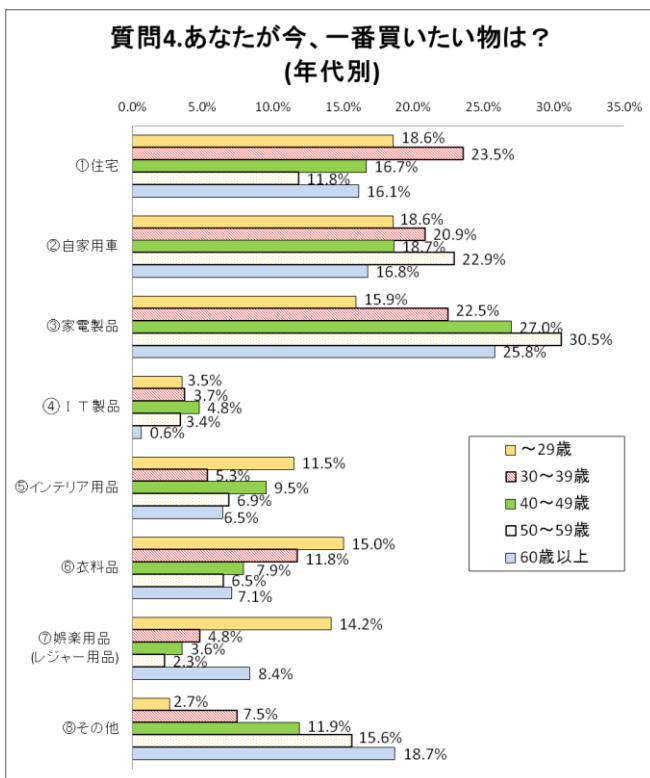
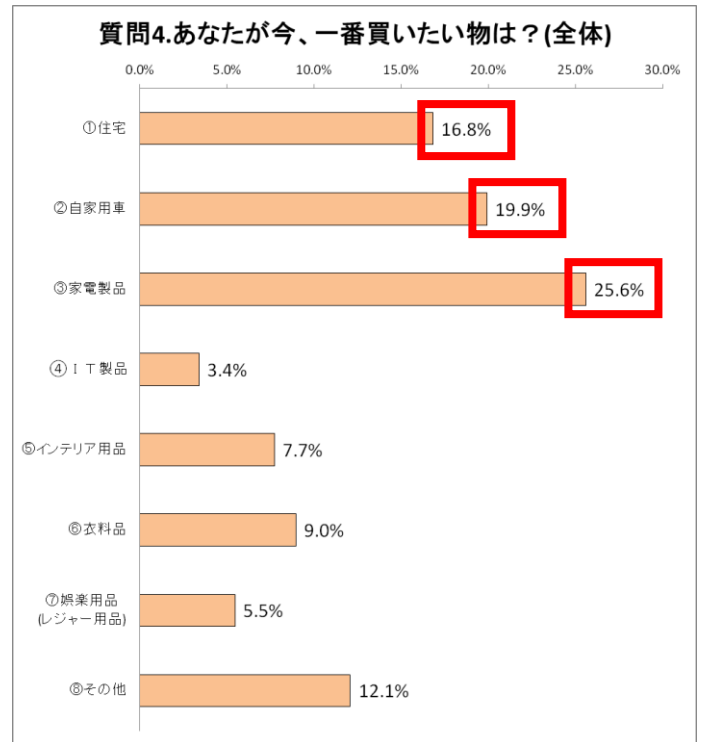
4. 今、一番買いたいもの

「家電製品」→「自家用車」→「住宅」

今、一番買いたいものを尋ねたところ、「③家電製品」が25.6%と最も高い割合となった。次いで、「②自家用車」が19.9%、「①住宅」が16.8%となった。

年代別で見ると、「インテリア用品」「衣料品」「娯楽用品」を挙げる割合は20代が最も多く、「住宅」を挙げる割合は30代が最も多くなっている。

男女別で見ると、男性の方が「IT製品」「娯楽用品」を挙げる割合が多く、女性の方が「インテリア用品」「衣料品」を挙げる割合が多くなっている。



【その他コメント】

- ・住宅リフォーム (多数)
- ・旅行に行きたい (多数)

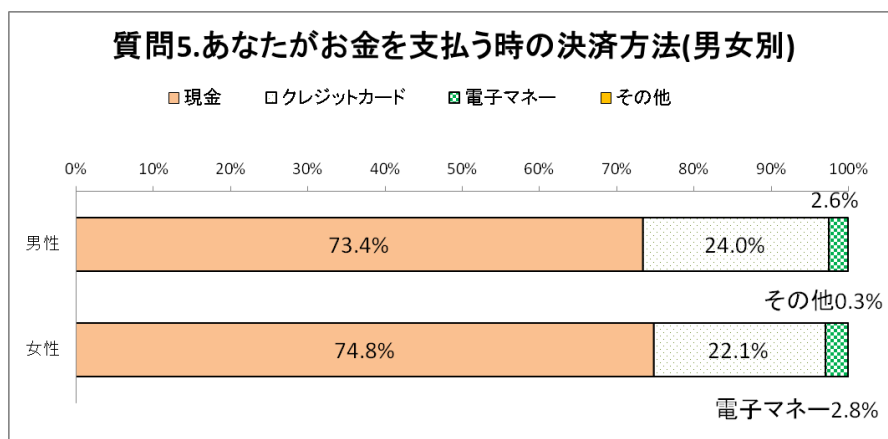
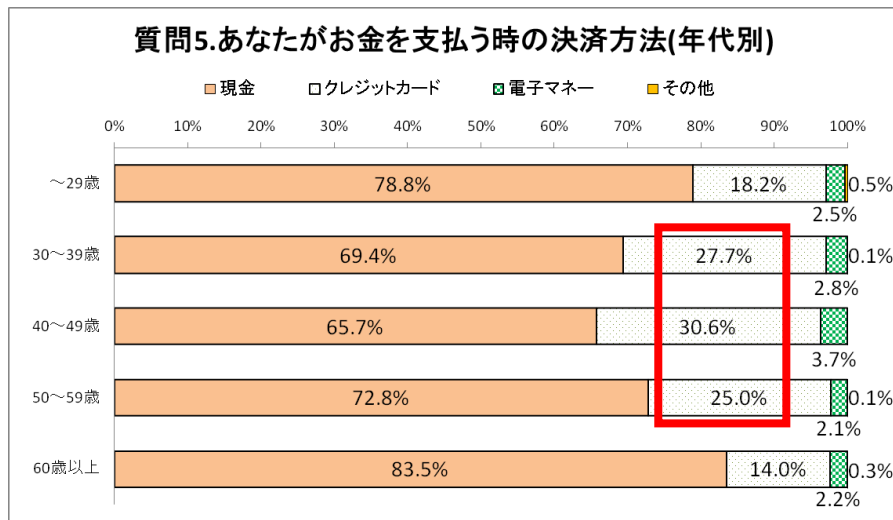
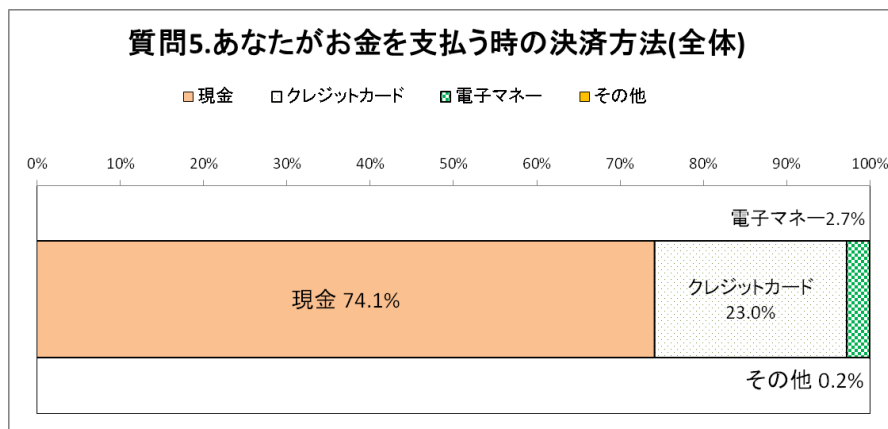
5. お金の支払いをする際の決済方法

現金が7割超

お金の支払いをする際の決済方法を尋ねたところ、「現金」が74.1%と最も高い割合となった。次いで、「クレジットカード」が23.0%、「電子マネー」が2.7%となった。「その他」ではプリペイドカード・口座振替・クレジットカード等のポイント支払と回答する人もいた。

年代別では、30～50代がクレジットカード決済の割合が多くなっている。

「クレジットカードデータ利活用とAPI連携（2017年3月、経済産業省）」によると、日本における民間消費支出に占めるキャッシュレス決済比率（クレジットカード・デビットカード・電子マネー）は18.3%であり、全国の中で、本県のキャッシュレス決済比率は高いという結果になった。

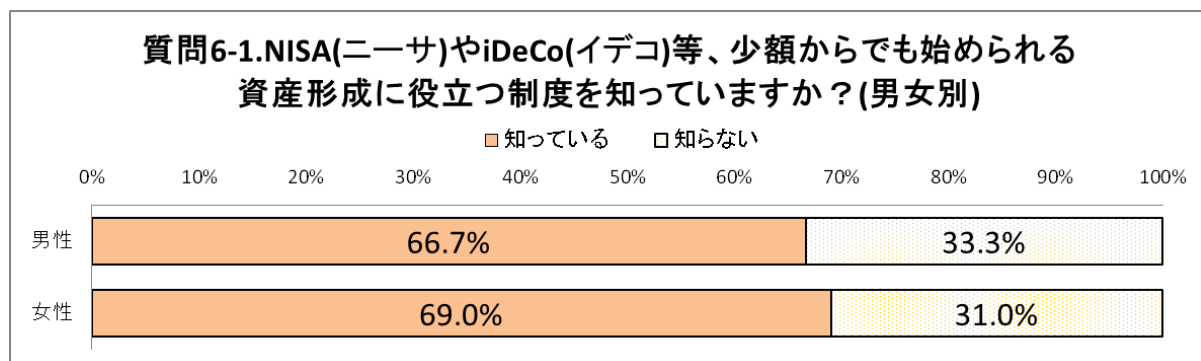
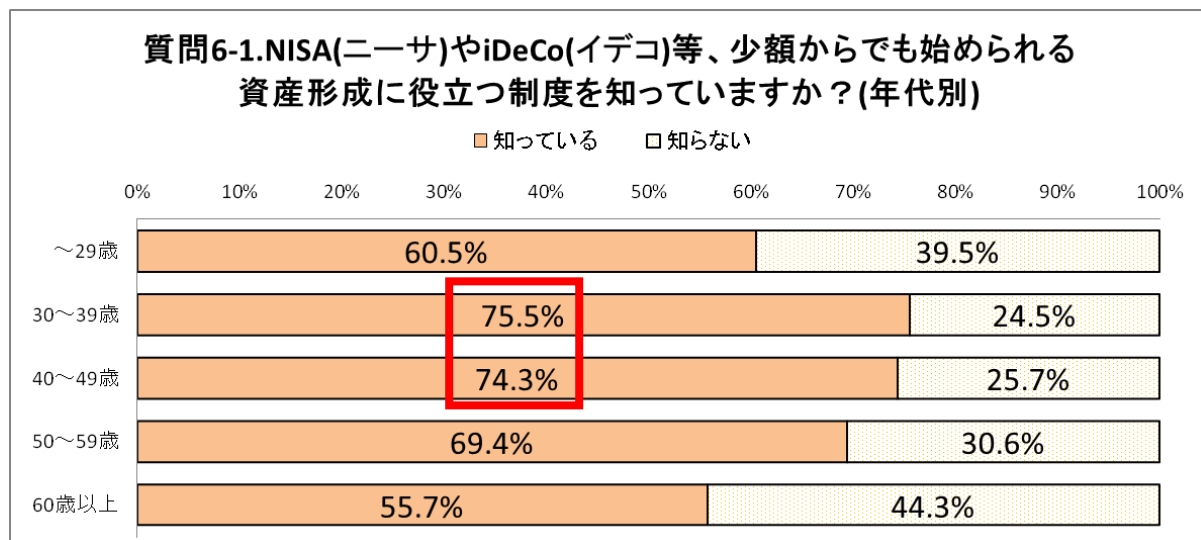
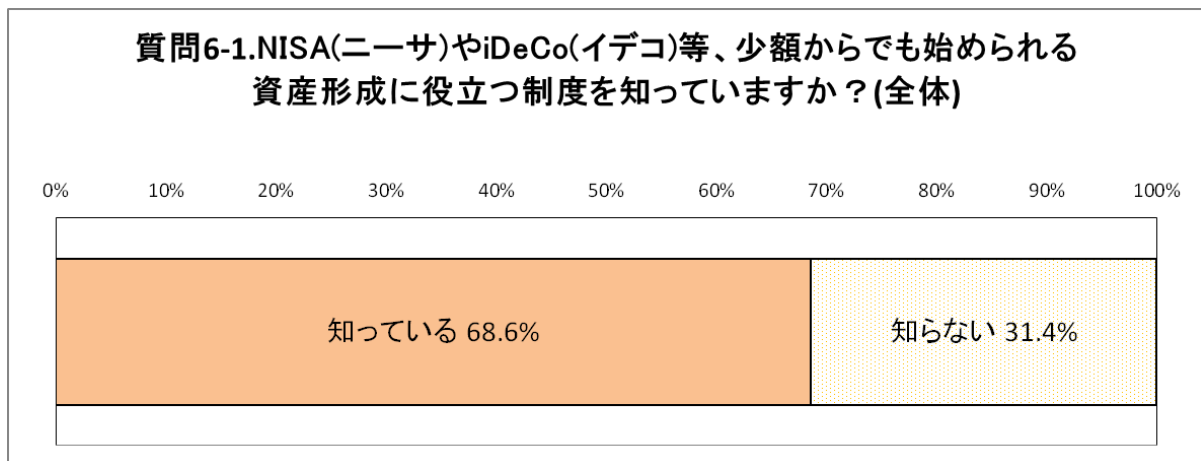


6-1. 資産運用について ～資産形成に役立つ制度の認知状況～

制度の周知は進んでいる

NISA（ニーサ）やiDeCo（イデコ）等、少額からでも始められる資産形成に役立つ制度を知っているか尋ねたところ、68.6%が「知っている」と回答し、幅広い年代で制度の周知は進んでいることが分かった。

年代別に見ると、30代と40代で「知っている」割合が7割超と、特に多くなっている。



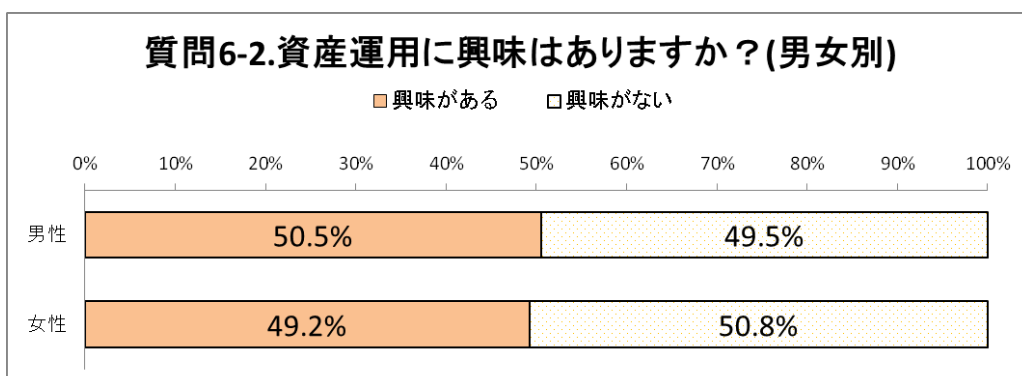
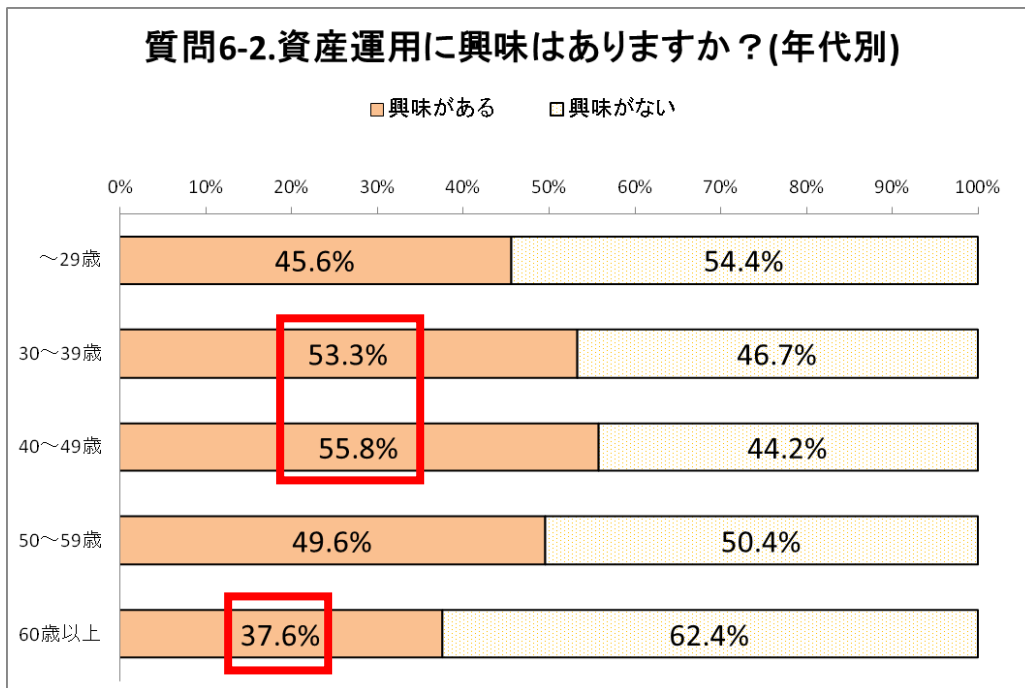
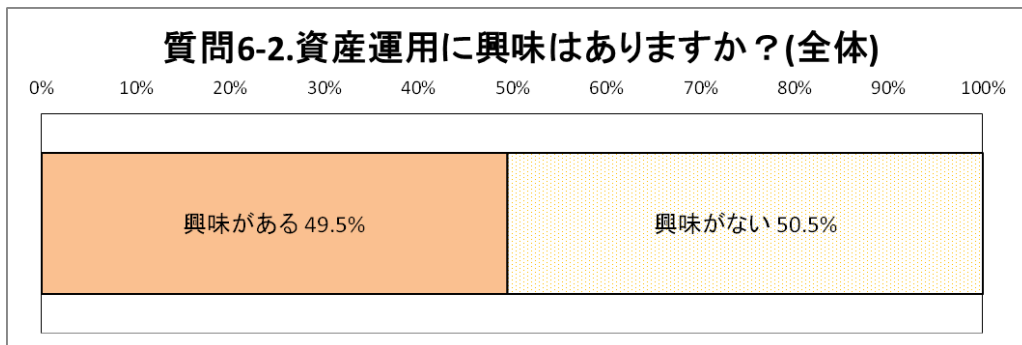
6-2. 資産運用について ～資産運用に対する関心～

30代・40代の関心が高い

資産運用に興味があるか尋ねたところ、「興味がある」と回答した割合は、49.5%と「興味がない」とほぼ同率となった。

年代別で見ると、30代・40代では5割超が「興味がある」と回答しており、前述の資産形成に役立つ制度の認知状況と資産運用への関心状況は、比例関係が見られた。

また、60歳以上で「興味がある」割合は37.6%と一番低い割合となっている。



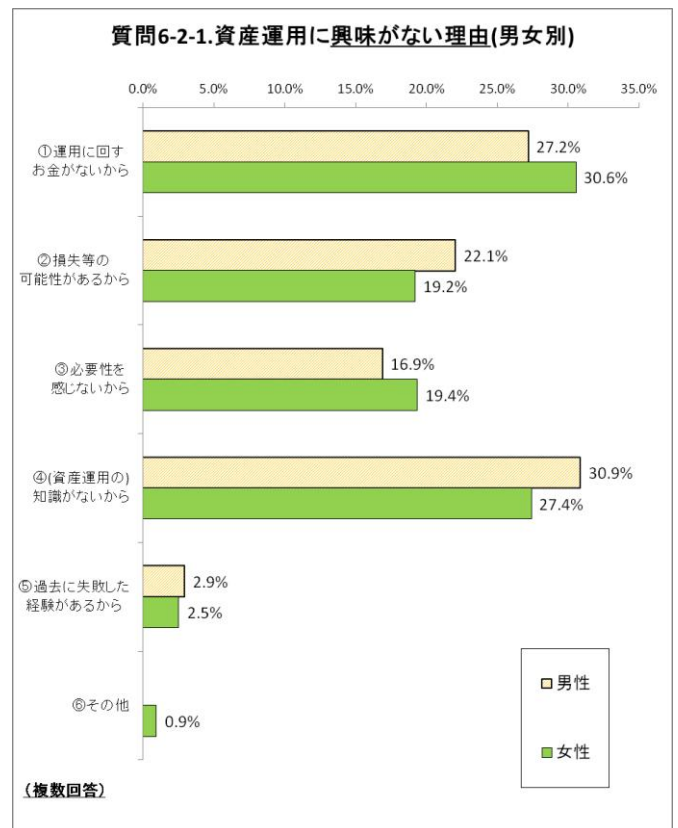
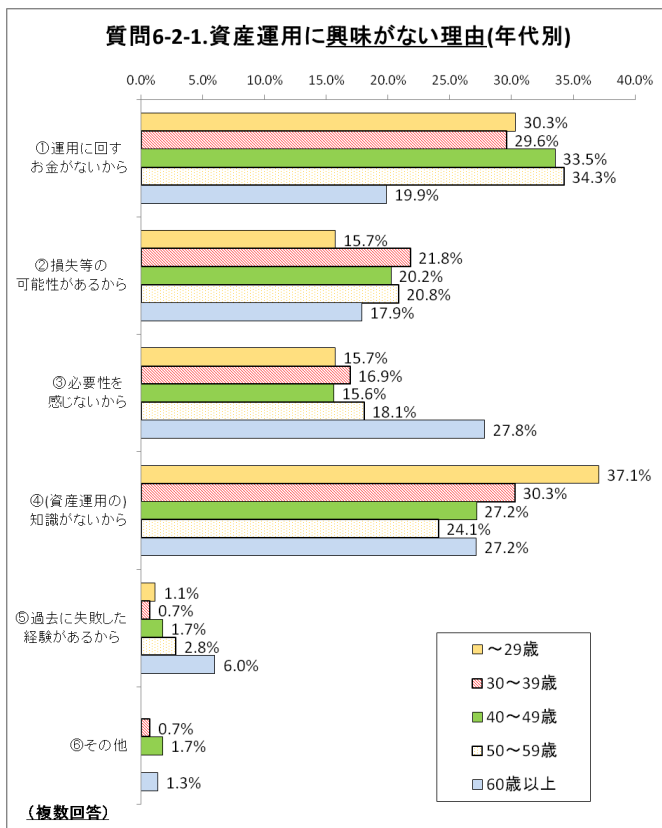
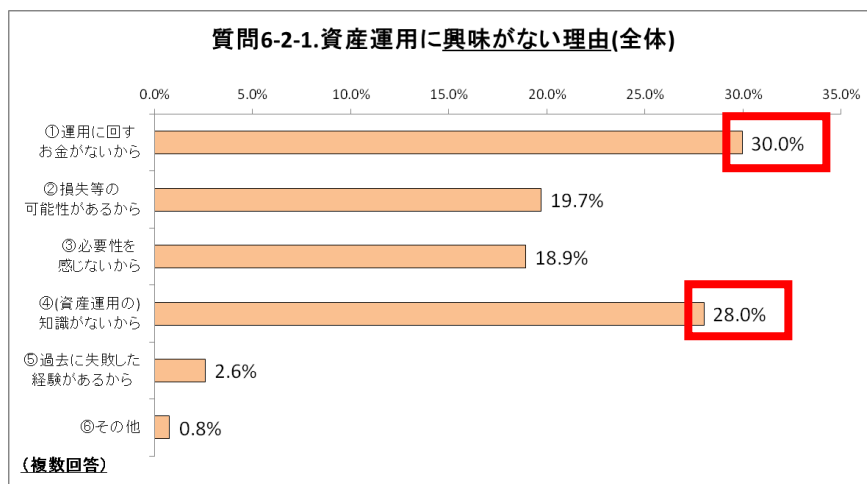
6-2-1. 資産運用について「興味がない」理由

20～30代 … 知識がないから

60歳以上 … 必要性を感じない

質問6-2で資産運用に「興味がない」と回答した人に、「興味がない理由」を尋ねたところ、「①運用に回すお金がないから」が30.0%で最も多い割合となった。次いで、「④（資産運用の）知識がないから」が28.8%となった。

年代別に見ると、20代・30代では「④（資産運用の）知識がないから」の割合が多く、60歳以上では「③必要性を感じないから」が27.8%と高い割合を占めた。



【その他コメント】

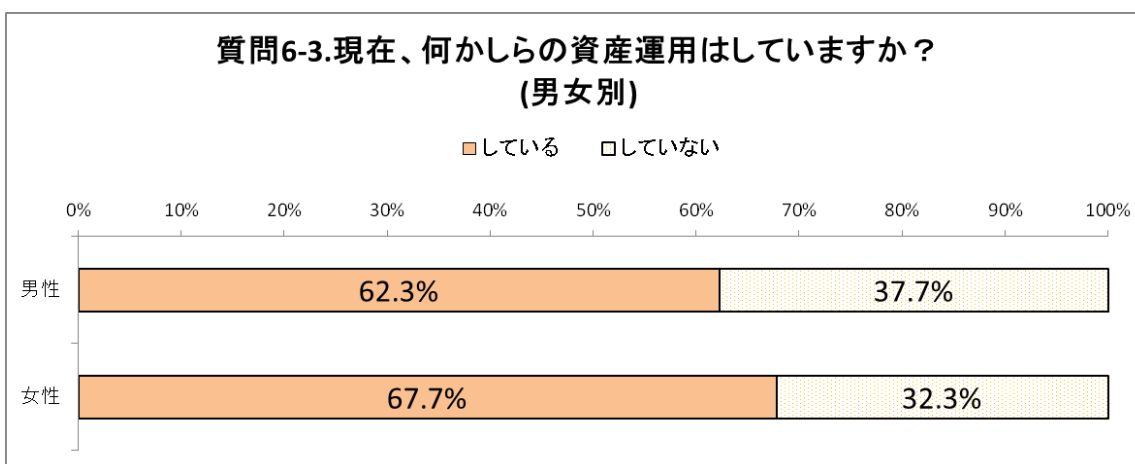
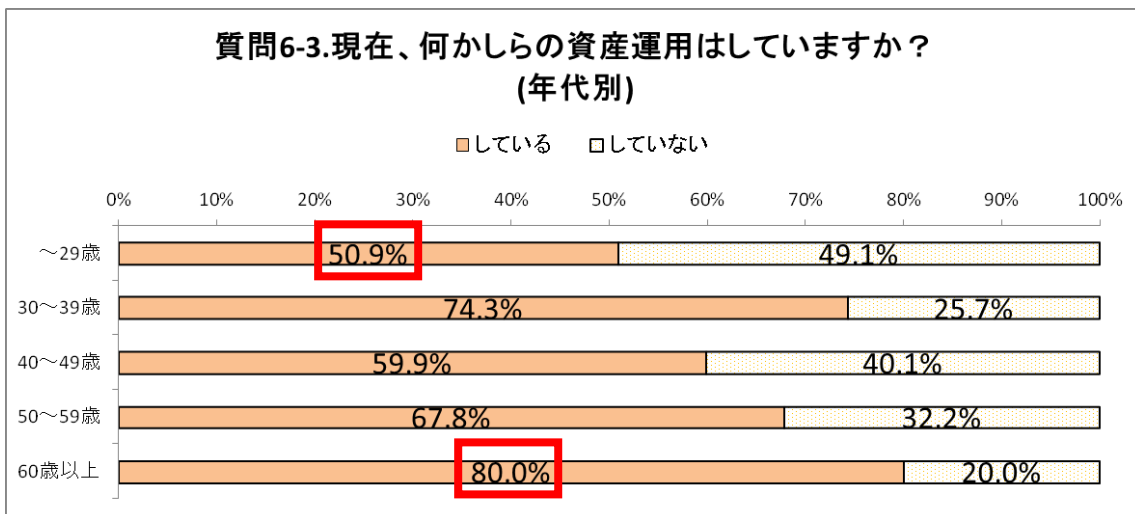
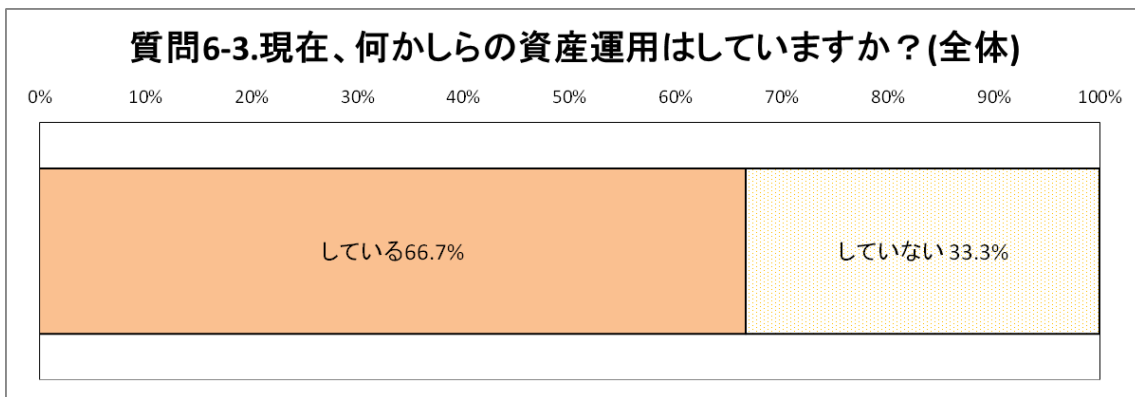
・考えている時間がない（30代・民間・女性）

6-3. 資産運用について ～資産運用の取組み状況～

60歳以上では8割の人が資産運用をしている

質問6-2で資産運用に「興味がある」と回答した人に、資産運用をしているか尋ねたところ、「している」と回答した割合が66.7%と資産運用に興味がある人の大半は既に資産運用を開始しているとの結果となった。

年代別で見ると、20代が50.9%と一番低い割合となっており、60歳以上では80.0%と一番高い割合となっている。



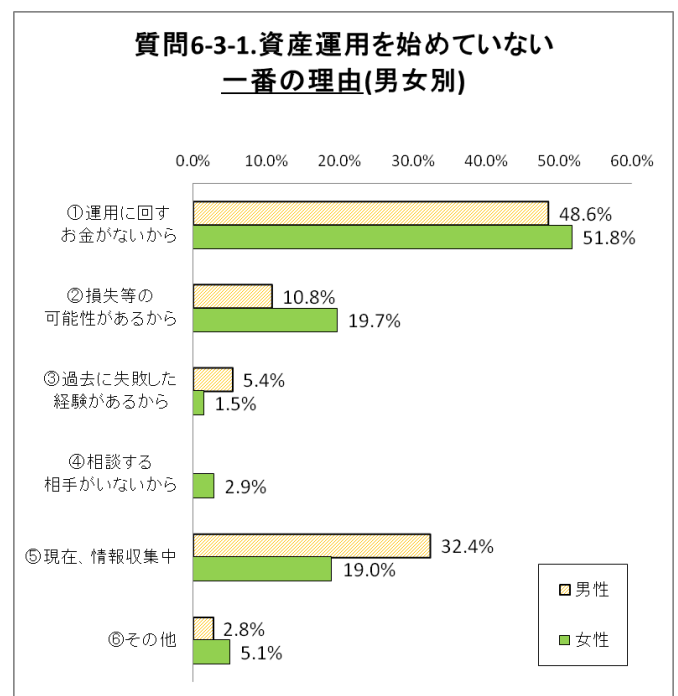
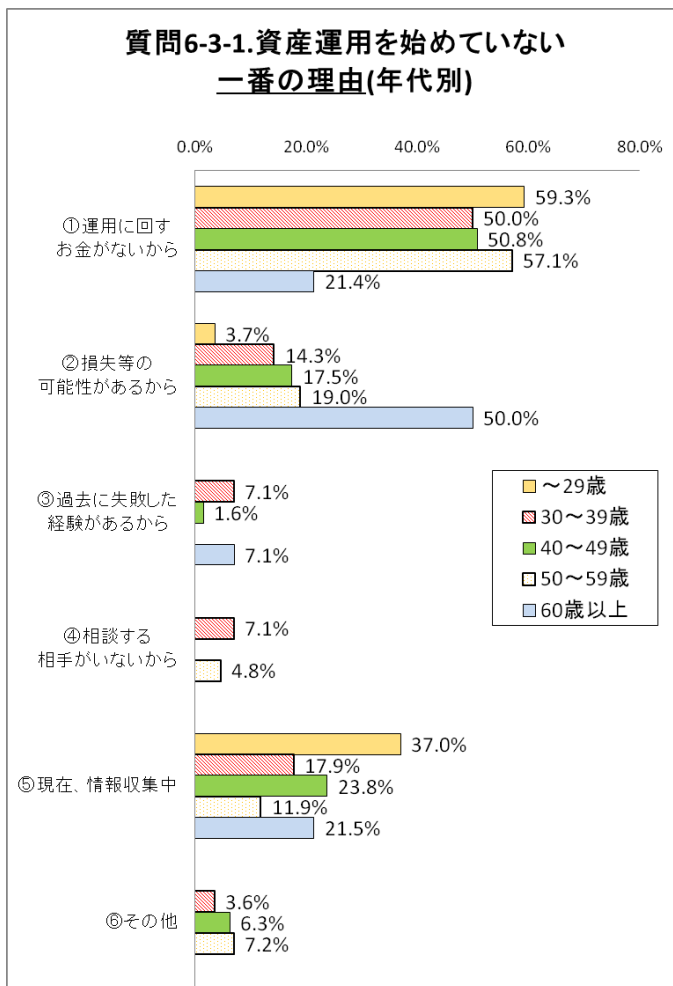
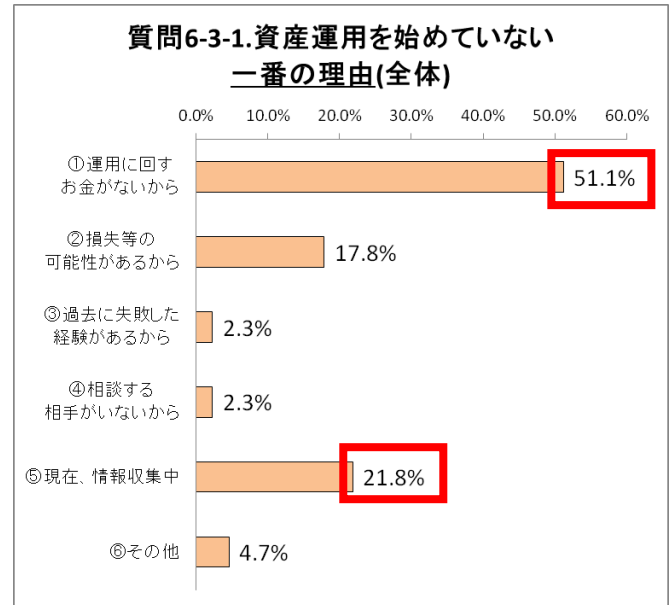
6-3-1. 資産運用を始めていない「一番の理由」

「運用に回すお金がない」が最多割合

質問6-3で資産運用を「していない」と回答した人に資産運用を始めていない一番の理由を尋ねたところ、「①運用に回すお金がない」が51.1%と最も多い割合となった。

次いで、「⑤情報収集中」が21.8%となった。

年代別で見ると、「運用に回すお金がない」は60歳以上を除く全年代で割合が最も多く、「情報収集中」を挙げる割合は20代が多く37.0%となっており、「損失等の可能性があるから」を挙げる割合は60歳以上が50.0%と最も多くなっている。



【その他コメント】

- ・やり方がよく分からない（30代・民間・女性）
- ・マイナンバーを登録されたくない（30代・民間・女性）

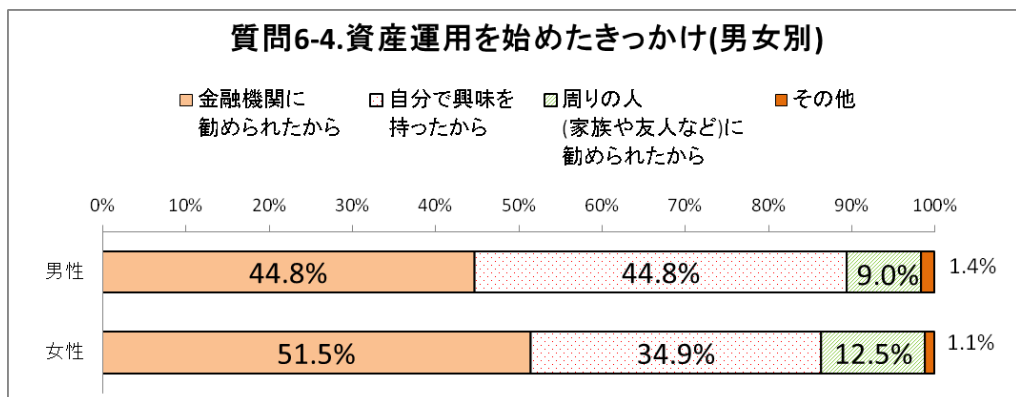
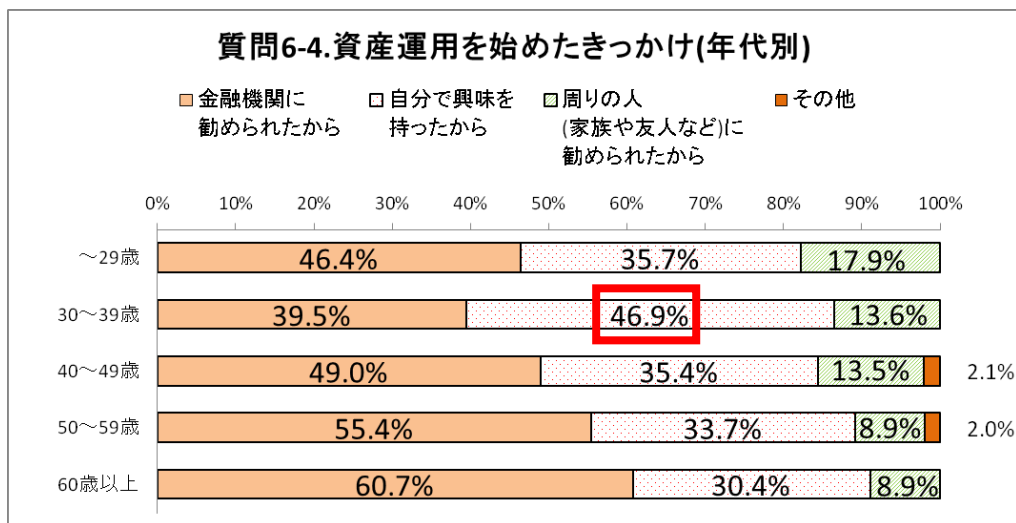
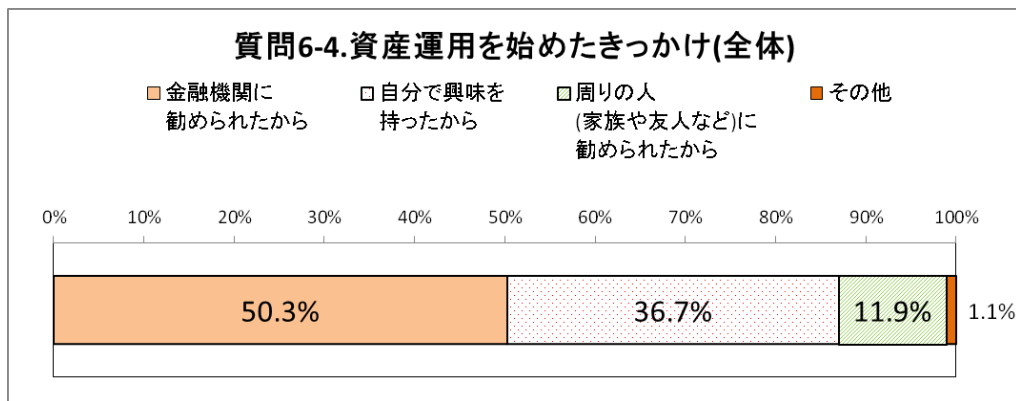
6-4. 資産運用について ~資産運用を始めたきっかけ~

唯一、30代は「自分で興味を持って」資産運用を開始

質問6-3で資産運用を「している」と回答した人に資産運用を始めたきっかけを尋ねたところ、「①金融機関に勧められた」が50.3%と最多割合となった。

次いで、「②自分で興味を持った」が36.7%、「③周りの人に勧められた」が11.9%となった。

年代別に見ると、30代では唯一、「自分で興味を持って」始めた割合が46.9%と「金融機関に勧められて」始めた割合より多くなっている。



【その他コメント】

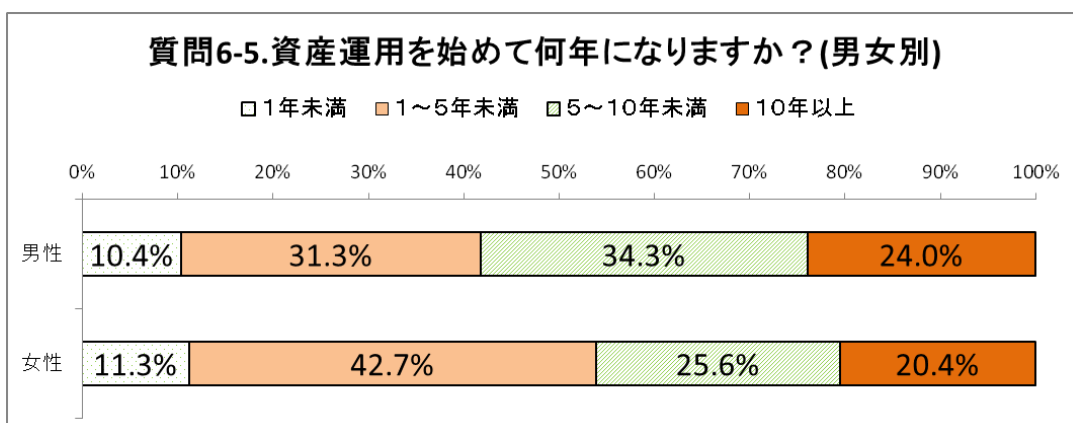
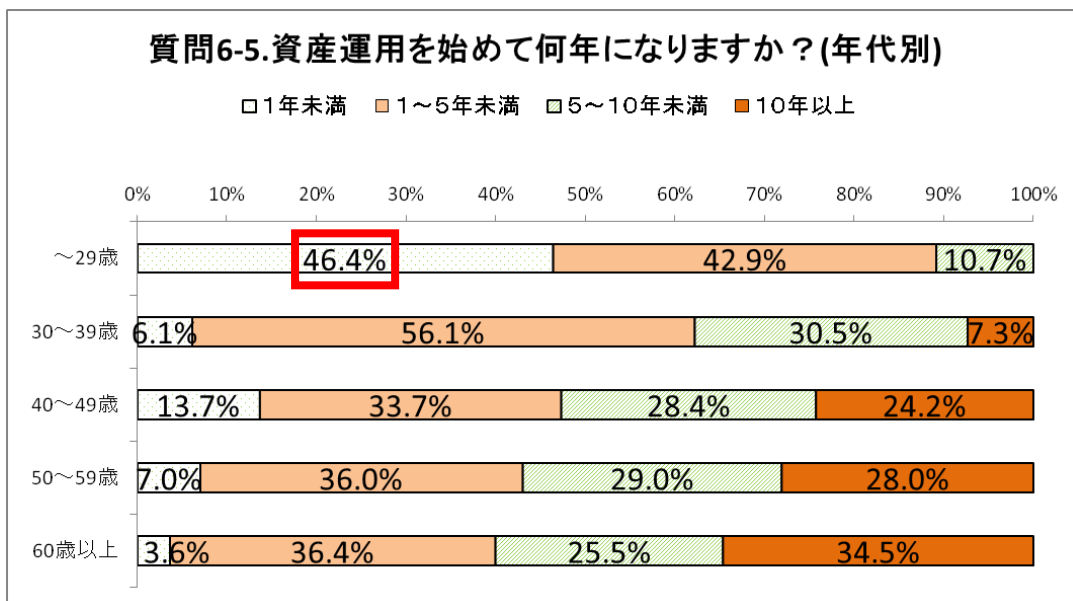
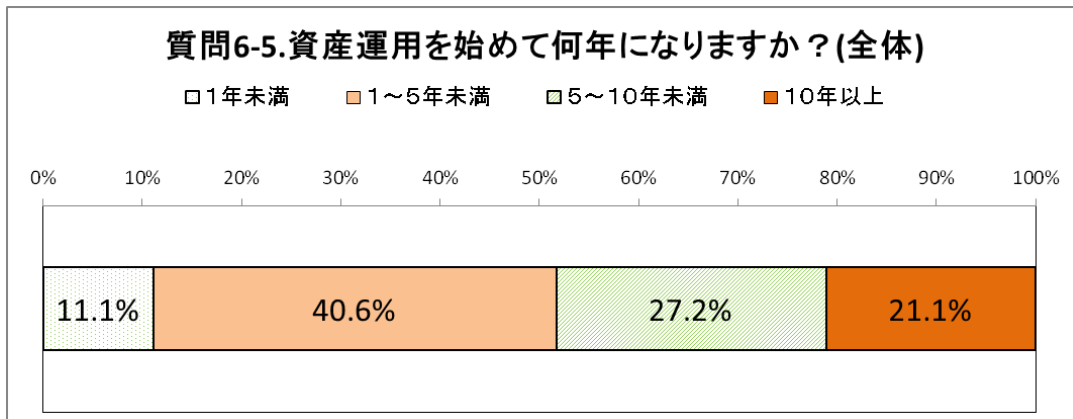
・会社で企業型拠出年金をやっている (50代・民間・男性)

6-5. 資産運用について ～資産運用の経験年数～

20代では資産運用を始めて「1年未満」が5割弱

質問6-3で資産運用を「している」と回答した人に資産運用を始めて何年になるか尋ねたところ、「1～5年未満」が40.6%と最多割合となった。次いで、「5～10年」が27.2%、「10年以上」が21.1%となった。

年代別で見ると、20代では資産運用を始めて「1年未満」の割合が46.4%で最多割合となっており、2018年1月からスタートしたつみたてNISA等が影響していることも考えられる。



6-6. 資産運用について ～資産運用の商品～

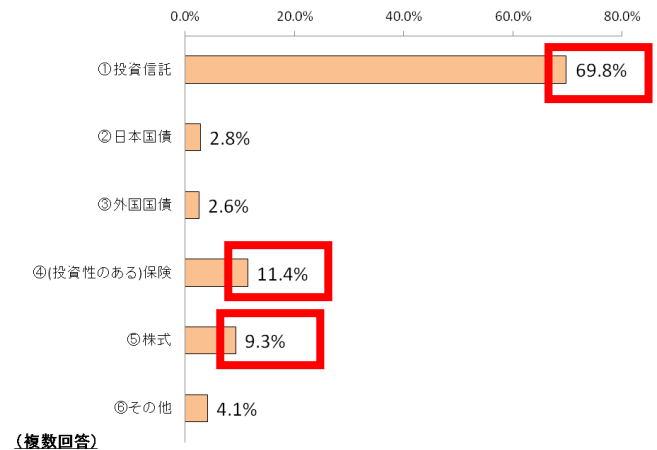
投資信託が約7割

質問6-3で資産運用を「している」と回答した人にどのような商品で資産運用をしているか尋ねたところ、「投資信託」が69.8%と最多割合となった。

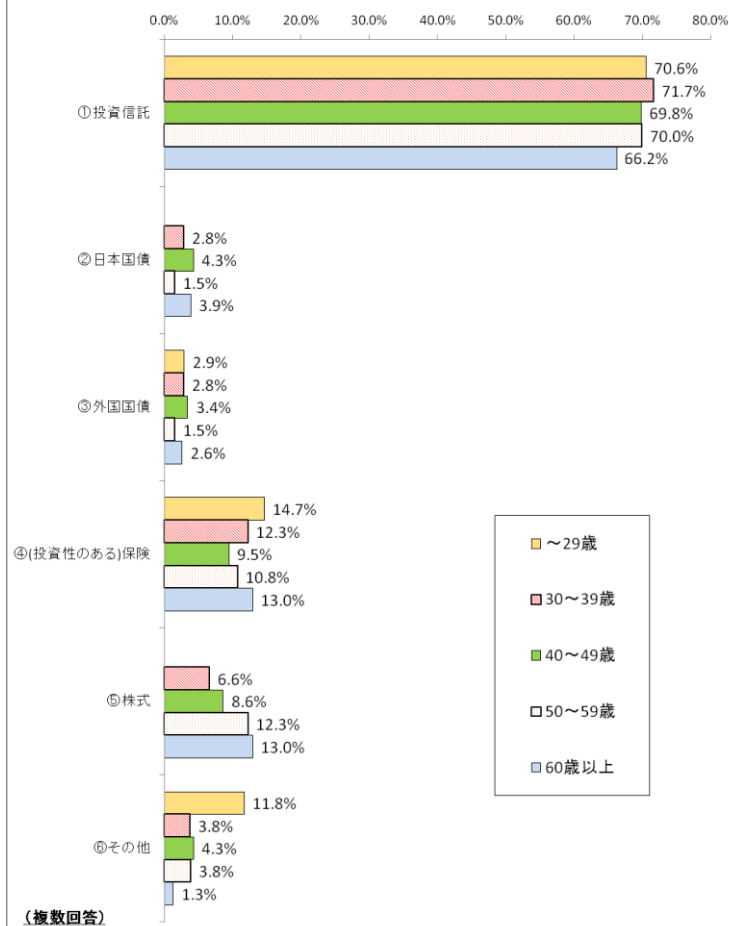
次いで、「(投資性のある)保険」が11.4%、「株式」が9.3%となった。

年代別で見ると、「株式」は年代が高くなるにつれて割合が多くなり、60歳以上では13.0%が株式で資産運用している。

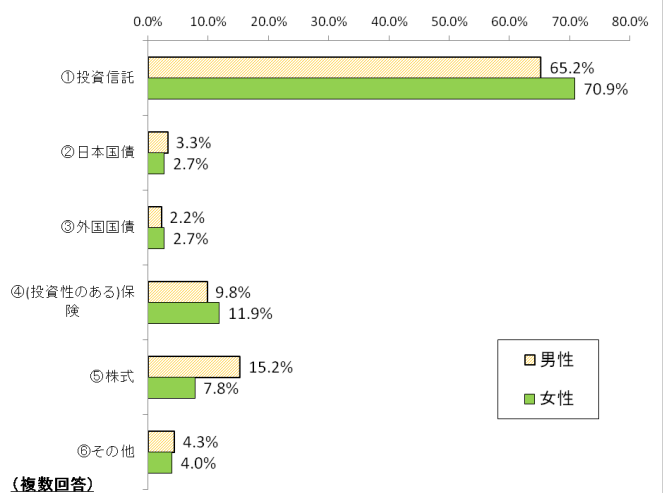
質問6-6.どのような商品で資産運用をしていますか？
(全体)



質問6-6.どのような商品で資産運用をしていますか？
(年代別)



質問6-6.どのような商品で資産運用をしていますか？
(男女別)



【その他コメント】

- ・仮想通貨（40代・民間・男性）
- ・外貨預金（30代・民間・女性）

※本調査レポートは、当行ホームページにも掲載しております。
(トップページ→「みちのく銀行について」→「CSRレポート」)

家庭の銀行



発行：株式会社みちのく銀行 経営企画部 広報室
〒030-8622 青森市勝田1丁目3-1
TEL：017-774-1274